

## 「毎日お米を食べられることに感謝です」

「富山コシヒカリ」の産地・富山県小矢部市と、「環境こだわり米・滋賀秋の詩」の産地・滋賀県東近江市に組合員さんが訪れ、5月に田植え体験をした地域で稲刈りを体験しました。

**富山県 JAいなば**  
9月19日～20日 24名参加



お芋も  
ほったよ～

**富山コシヒカリ** 新米  
毎週企画



普通精米 5kg 本体1,980円 (税込2,138円)  
無洗米 5kg 本体2,280円 (税込2,462円)

※お正月準備用に「5kg×2」の企画があります(予約価格)

あんのういも石ころぐらいだったけど、大きなあんのういもができてびっくりしました。いねかりもただの3本のはっぱだったけど、いっぱいお米ができてびっくりしました。お米のしゅうかくとか、皮をむくのなどを、毎日毎日ひとつずつがんばってすごいです。今年はいを、毎日毎日ひとつずつがんばってすごいです。今年はいのししにおいもがたべられないようにイノシシよけのでんせをしてたべられなかつたうれしいです。二日目のおまつりもとてもたのしかったです。(北区 藤井さん 8歳)

## 産直産地ツアー 稲刈り収穫体験

**滋賀県 JAグリーン近江**  
9月13日 36名参加



刈り終わったばかりの玄米がトラックから貯蔵施設に移されるようすに興味津々の子どもたち

私にとっても子どもたちにとっても初めてとなる稲刈りでした。最初は、初めてという事もあって子どもたちもテンションハイな状態で楽しく刈り取っていたんですが、だんだん「疲れた!」「まだなん?」と文句も(笑)。それでも汗をかきながら、最後まで一株一株中腰の姿勢でがんばりました。お米の生産というだけでなく、環境や地域のとりくみなどさまざまなことに取り組まれていること、改めて毎日お米を食べられることに感謝です。(寝屋川市 幡野さん)

**環境こだわり米 滋賀秋の詩** 5kg  
12月3回・5回



本体1,680円 (税込1,814円)

いつも、とかいにいたのがウソみたいだったので、とてもびっくりしました。自然にめぐまれて、バツもみていねかりもとても楽しかったです。(鶴見区 村松さん 8歳)



二コープの映像ではわからない現状を直接見る事ができたことは、非常に大きい経験になりました。

実際の農作業の手伝いはもちろんですが、地元の祭りに参加させていただいたことは現地の事を理解する上で、非常に有意義なことでした。

最初は祭りに参加することに意味があるのでしようかというのが頭の中に有りましたが、現地の文化を理解することもボランティアの一つであるということも考えさせられました。

(東成区・小林さん)

## 遠野通信

NO.71

### 被災者に寄り添い、絆をつなげる支援活動を

被災から5回目の冬を迎える三陸沿岸です。仮設住宅から復興公営住宅への転居が本格化してきた岩手県で復興につながる教訓に学ぶことが多くあります。

その中で「郷土芸能は地域をつなぎ、世代をつないでいる」ということです。郷土芸能というコミュニティの中で、命の大切さとともに、防災・減災を語り継ぎ、復興の原動力としておられる方が多くいます。その一つ、大槌町では自然の「恵みへの感謝」と「畏敬の気持ち」を表す「虎舞」、「鹿子踊」や「七福神」などの郷土芸能が震災以降も後生に引き継ぐ努力がなされています。例えば、虎舞は被災で亡くなられた人をはじめ、舞の具や半纏も失いました。そこでいくつかの虎舞が力を合わせるために協議会をつくり、若い世代への伝承を行い、子どもたちは厳しい練習、下積みを震災の年から始めているとお聞きしました。

都市・大阪でもおおよそ小・中学校区エリアのPTAや町内会、子ども会などのつながりで、お互いの顔が見える小さなコミュニティ(パルコープというパル委員会のエリア)が、いざという時のたすけあいの基本になるのではないのでしょうか。

(岩手県遠野市に常駐するパルコープボランティア事務局・林さんより)



### ずっとボラの会(東北応援バス参加者の有志の会)よりお知らせ

<今後の予定> ぜひ、お立ち寄りくださいね。

日程	会場	時間は
12月13日(日)	ながお店	10時～15時です。
2016年1月10日(日)	東中浜店	

パルコープの店舗一覧はこちら。  
<http://www.palcoop.or.jp/shopping/shop/index.html>

店頭で東北グッズ販売と募金活動などを行いました。  
◎守口市民まつり(11月1日) 売上げ100,360円と募金1,582円  
◎ライトハウスまつり(11月7日) 売上げ65,340円と募金657円  
◎忍ヶ丘店(11月8日) 売上げ37,740円と募金1,224円

※ボランティア活動報告はホームページにも掲載しています。<http://www.yodogawa.coop/info/info/shinsai>

## 2015年度 第5回 東北応援バス報告

(9月20日～23日) 66名参加

長時間バスに乗ることが少し不安でしたが、無理のない行程で、これなら、どの世代の方でも参加できるなと感じました。語り部の方のお話をじっくり聞く時間を設けていただき、本当に考えさせられることが多かったです。かつての陸前高田市の姿を知る方たちにとつての震災・津波による破壊喪失はとても想像できるものではないですね。復興は進みつつあるものの、歩みは遅いように感じましたし、人々の暮らしのレベルでの支援こそ、もっと充実させるべきように思いました。人口が減り、子どもの声が聞こえなくなった街という話にこれからの復興事業の困難さを思ったりしました。

(住之江区・田中さん)



よどがわ生協・ならコープ合同企画

お1人でも  
ご家族でも

## 第7回「東北応援バス」

参加者募集

【日程】12月28日(月)～12月31日(木)

【申込締切】11月30日(月)

【募集定員】30名(3生協定員・最低実施人数15名)

今までに参加された方も、申し込みを受付けています。定員を超えた場合は抽選となります(初めての方が優先です)。

【参加費】中学生以上 お1人 12,700円  
小学5・6年生 お1人 9,700円

※小学生はかならず保護者同伴でご参加ください

【行程】3泊4日(車中2泊)・大型観光バスで行きます

- 1日目 パルコープ本部(京橋)集合(18時予定)(バスで移動、車中泊)
- 2日目 岩手9時頃着、ボランティア活動、被災地視察(夜は宿泊泊)
- 3日目 ボランティア活動 (バスで帰阪、車中泊)
- 4日目 パルコープ本部前到着(9時頃予定)

【参加条件】組合員さん、及びその家族で安全上、小学校5年生以上の方。複数名参加可。

- \*活動内容と場所は、現地での要請に基づきます
- \*持ち物などの詳細は別途、参加者にご案内します
- \*宿舎は男女別・相部屋です
- \*参加費には、ボランティア保険・宿泊費などを含まれます
- \*天候不順などにより中止になる場合があります

【申し込み・問い合わせ】パルコープ組合員活動部  
☎06-6242-0904 (月～土 9時15分～18時)

※今年度は第7回で終了です。次年度は121号(1月25日から配布)にて募集予定です。

ご協力ありがとうございます

東北支援募金の状況(2015年3月21日～2015年10月20日)  
15,487,318円 (この金額には2014年度繰越金・注文書での募金・店舗などに設置の募金箱・ずっとボラの会での物販などを含まず)

## パル子のお店新発見

おおさかパルコープには9つのお店があります。今回は毎年恒例のJAいなばさんによるお餅つきについてご紹介。

おにぎりもお餅もおいしかったよ  
JAいなばさん お餅つき 10月31日・11月1日



東都島店

←家族4人で来店。「餅つきがあると聞いて、時間に合わせて来たんです」とお父さん。

JAいなばの青年部の方と活動委員の子どもたちもお手伝いした店頭販売会

### お餅つきピックアップ



西くずし店

東中浜店

ながお店

お店の情報は「おしらせメール」で。会員登録はコチラ→



炊き立ての「富山コシヒカリ」でパル子も食欲の秋!

【パルコープのお店情報と今週のチラシ情報はHPをご覧ください】<http://www.palcoop.or.jp/shopping/shop/index.html>  
【パルコープのお店のご利用】は共同購入の組合員さんなら、各店舗サービスカウンターで無料で「ぱるんカード」をお作りします。その日のお買物分からポイントが付き、パルコープの全ての店舗共通でご利用できます。(組合員コードが分かればスムーズです)